

I 県外観光客入込調査

1 概 要

- (1) 令和7年に高知県を訪れた県外観光客入込数は、対前年比102.7%、約11万8千人増の4,572千人と推計され、現在の推計手法となった平成15年以降の過去2番目となった。

この結果は、連続テレビ小説「あんぱん」放送の追い風の中、官民一体で観光振興に取り組んだことや、2年目となった「どっぷり高知旅キャンペーン」の発信、クルーズ船の寄港増などによる効果と考えられる。

- (2) 交通機関別入込数においては、自動車による入込が全体の約8割を占めており、乗用車利用者は64.8%、観光バス利用者は19.4%であった。乗用車利用者は対前年比100.7%で20,582人の増加、観光バス利用者も対前年比100.6%で5,295人の増加となった。

また、他の交通機関においては、客船が対前年比200.2%で74,717人の大幅増となった。

- (3) 観光施設の利用状況において、利用者数が最も多かったのは「高知城懐徳館」で、利用者数は311,774人、前年比114.6%と昨年以上に増加した。

次いで、多かったのは「高知県立牧野植物園」の270,971人（対前年比86.1%）であり、前年比では減少しているが、連続テレビ小説「らんまん」効果が継続していることが伺われる。

また、「アンパンマンミュージアム」は、令和7年3月28日までリニューアルのため休館していたが、利用者数は227,497人、前年比200.7%となっており、連続テレビ小説「あんぱん」の放送が、利用者の増加につながったと考えられる。

- (4) 県外観光客一人当たりの消費額（客船除く）は、30,937円であり、前年と比較して1,220円の増加となった。

内訳は、「宿泊費」が518円、「飲食費」が906円、「土産代」が14円、「その他」が135円の増加となり、「交通費」のみが353円の減少となった。

県外観光客の総消費額は、138,135百万円であり、前年と比較して7,319百万円増加、対前年比105.6%となった。

2 展 望

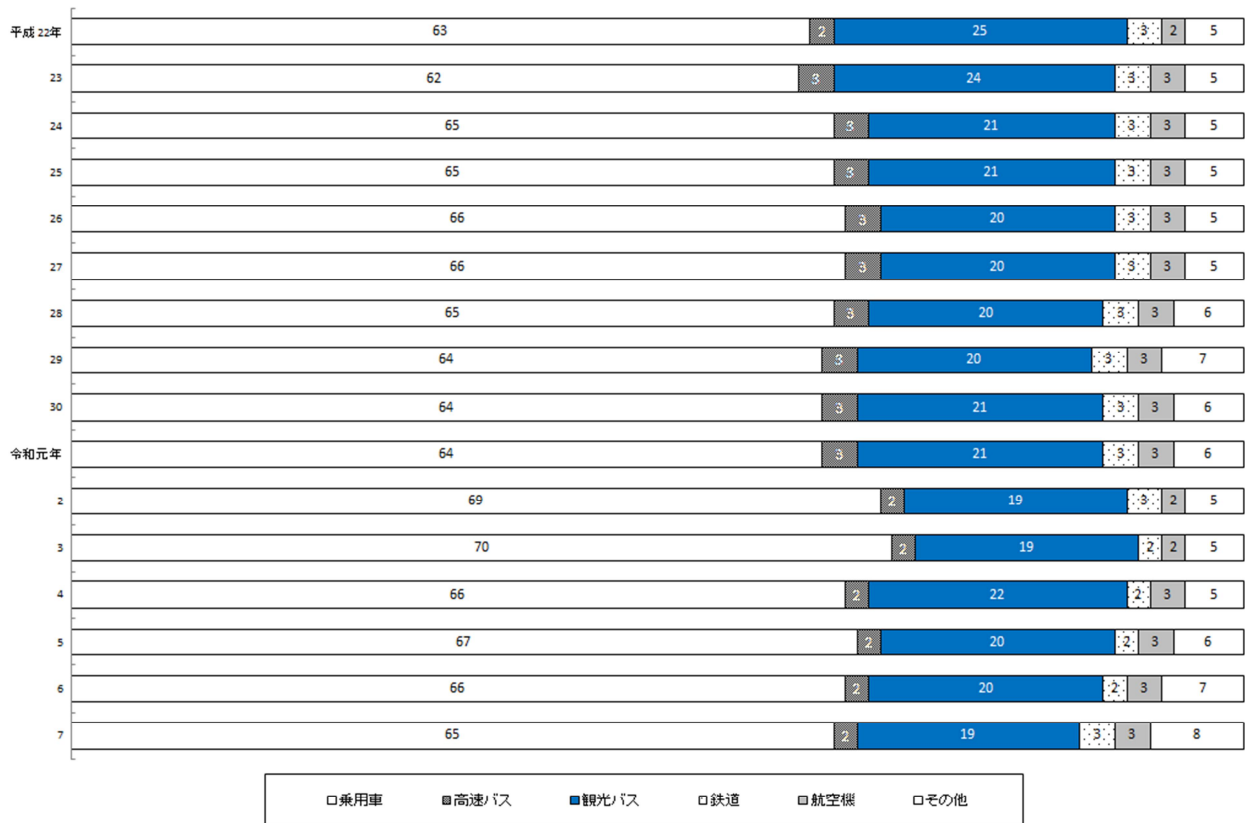
令和7年は、連続テレビ小説「あんぱん」放送の追い風の中、官民一体で観光振興に取り組んだことや、「どっぷり高知旅キャンペーン」を通じたプロモーションやセールス活動の実施などにより、県外観光客入込数は、過去2番目となる457万人となった。

令和8年は、「よさこい高知文化祭2026」と連携し、地域ならではの伝統文化や歴史文化施設等の魅力を訴求するとともに、「ドラマが生まれる場所 高知」を前面に打ち出したプロモーションを展開することで誘客の拡大に取り組む。また、令和10年に放送される大河ドラマ「ジョン万」を、本県の観光振興に最大限に生かし、誘客の拡大に向けて取り組んでいく。

3 調査結果

・交通機関別入込状況

(図1-1) 交通機関別観光客占有率の推移 (%)



□乗用車 ■高速バス ■観光バス □鉄道 □航空機 □その他

(表1-2) 交通機関別観光客の推移

単位：千人

	乗用車	高速バス	観光バス	鉄道	航空機	その他	合計
平成22年	2,737	108	1,080	120	93	221	4,359
23	2,412	111	947	120	96	198	3,884
24	2,481	112	827	121	102	197	3,840
25	2,670	115	839	123	109	216	4,072
26	2,642	114	816	122	111	207	4,012
27	2,714	118	805	126	112	211	4,086
28	2,756	115	856	129	116	271	4,243
29	2,830	114	892	130	122	318	4,406
30	2,820	112	927	133	125	295	4,412
令和元年	2,813	112	927	133	139	264	4,388
2	1,838	46	521	75	59	128	2,667
3	1,860	40	522	61	60	129	2,672
4	2,437	62	830	92	107	179	3,707
5	3,148	75	938	108	144	309	4,722
6	2,940	79	883	108	143	301	4,454
7	2,961	84	888	113	149	377	4,572

※「その他」には、航空機チャーター便、客船及びフェリーを含む。

(参考)県外観光客の推移と主な出来事

